



## 夏野菜の準備中②



ビニールハウスの中に植えられた大玉トマト。気温の上昇に合わせてすくすく育ち、6月に出荷となります。



トウモロコシにとってはまだ寒い時季なので、種を蒔いたらビニール布で保温しながら育てます。



これから出荷のまだ小さなホウレン草。春の大雨の被害が多少ありましたが、頑張ってます。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

### ★忙しくても、いつものペースで

暖かい日が続きますね。今の時期は冬野菜が終わりになる一方で夏野菜がまだ生育中の端境期(はざかいき)です。人参、ゴボウ、さつまいもなどの貯蔵した野菜と、冬に種を蒔いて保温しながら育てた大根やホウレン草などを出荷していますが、野菜の種類が少なくなる時期です。

とはいっても農家は休む暇もありません。夏野菜の種まきや苗の移植など、夏に向けての準備で忙しい時期で「都会の人は花見なんて言うけど、なかなか時間がないからまあ夜桜を見るぐらいだな」「花を見るところより、運転している途中で山桜を見るぐらいだな」という声が多いのです。

夏の定番野菜の大玉トマトやトウモロコシを育てている大竹さんも、忙しい日々を送っています。まず大玉トマトは3月中旬に約2000本もの苗を植えました。これから味が乗るようあえて水を絞り、6月の出荷に向けて虫を手で捕ったりカルシウムや納豆菌などを定期的に散布するなど手間をかけていきます。また、トウモロコシも3月中旬から蒔き始めていますが、トウモロコシは収穫時期が短いので、種まきの時期を5日間ぐらいずらしながら何回かに分けて種を蒔いています。さらにホウレン草のトンネルの換気など、何かと忙しいのです。それでも「忙しいかもしれないけど、毎年やっていることだからな」と、慌ただしくもいつものペースで仕事をしています。季節に合わせて、自然に合わせて仕事するのが農業であり、農家さんに穏やかな人が多いのも自然に沿って生きているからなのでしょうね。

### 【産地情報】

◎4月1日から小カブの出荷が再開しています。また、この時期にしては高い気温で野菜が傷みやすくなっていますので、必要に応じてクール便などご検討下さい。